

えるべきとの観点から、賛成する。

請願第43号 少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択を求める請願

反対討論

少人数学級を推進することについて、当市は複式学級が20学級、20人以下学級が83学級あり、少人数過ぎることへの対応が必要であると考える。また各区都道府県の裁量を大幅に拡大し教職員定数、給与額など自由決定できるなどとし、国庫負担割合を地方からの強い要望により2分の1から3分の1にしたことから復元はあり得ないと考え意見書提出は必要ないと考え、反対する。

賛成討論

保護者、教員ともアンケートなどでは30人学級にしてほしいが1番となっている。本来であれば35人、30人と引き下げていくべきであるのに加配措置により対応してきたが、早急に35人、30人とすべきである。教育予算もOECD諸国に比べ最低であることから国庫負担を2分の1に戻して教職員等の手当てをするなど必要であるとの観点から、賛成する。

特別委員会報告

東日本大震災調査特別委員会

9月24日の委員会では、「農林業系副産物焼却処理等円滑化事業に係る前処理施設設置の進捗状況と畜産農家に与える影響について」「共同仮置場設置に係る設置方針と進捗状況について」「東京電力による補償状況について」「被災住宅の復旧状況について」調査しました。

放射性物質に汚染された牧草焼却の前処理施設場所が未定とのことから、早期に設置場所選定を進めていくとのことでありました。また、東京電力の補償状況は、奥州市請求分1億5725万円に対し交付割合は2・9%です。東京電力による自治体ヒアリングが行われましたので、今後の支払いを注視していきます。設置が難航している汚染

競馬事業調査特別委員会

9月24日の委員会では、市長はじめ担当職員が出席し「現在までの開催状況について」「今後の経営見通しについて」を調査いたしました。

岩手競馬の4月6日の開幕から8月18日までの発売額の計画達成率は、岩手競馬発売で110・7%、広域受託発売で100・4%と計画を上

土共同仮置場については、議員も市当局と共に推進していくことや、生活再建住宅支援事業制度の周知の必要性などについて意見が出されました。



震災に対する取組みを説明する小沢市長

回っております。年間の収支見通しについても、iPAT発売が好調なこともあり、第2期までの発売実績額が計画額を上回ったことなどから、当期利益を6000万円から1億7200万円増の2億3200万円に上方修正を行うなど、好調に推移しています。5年間にわたり、地方競馬全国協会1号交付金の支払いを猶予していただいております、平成27年度以降、本



「がんばろう東北」心をひとつに 岩手競馬

7月26・27日 大雨洪水警報発令に伴う被害調査

平成25年7月26日・27日大雨洪水警報発令に伴う被害が市内全域で見られ、常任委員会において所管する施設等の被害状況を調査しました。

*8月3日 建設環境常任委員会



市道桝和線 道路洗掘 (江刺区)



斎田川の左岸法面崩落 (前沢区)



市道長根4号線 道路洗掘 (水沢区)

*8月8日 産業経済常任委員会



水田畦畔崩落 (胆沢区小山)



用水路決壊 (江刺区藤里)



農道法面崩落 (衣川区上小路)